

5. 中部地域

(1) 分野別の意見

区分	意見
道路・交通	<p>【道路一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真土金目線をもっと活用して地域の交通の利便性を向上／バス路線を／生活道路として充実／真土金目線を土屋橋まで延長 ・高砂交差点の右折渋滞（真土金目線）／全体的に交差点の右折処理の改善 ・豊田地区を経て平塚伊勢原線に連絡する南北の幹線道路を（大縄橋から豊田小嶺を経て城島公民館横を通り伊勢原藤沢線と交差する幹線道路） ・無道路の農地が多い ・地域を河川が横切っており、橋が少なく不便／平塚養護学校の生徒にとっても不便 ・城所台地における高齢者の利便性向上のため城所から伊勢原駅への道路を整備 ・平塚秦野線の渋滞／小田原厚木道路の側道を利用しやすく ・市道城所17号線がせまい。舗装もしてほしい（通学路となっている） ・東橋から平塚伊勢原線までの区間が混雑、カーブで狭く危険 ・生活道路の拡幅・整備 ・川沿いの渋滞対策（バス遅延の解消） <p>【歩道整備・改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡崎小付近の通学時間帯に車の規制ができないか／金旭中の通学路をもっと安全に ・安全面として通学路の連携（岡崎から大住中学校への通学路で伊勢原市の区間があり、事故が起こったときに対応してくれなかった） <p>【公共交通、自転車】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平塚駅～金田公民館までのバス路線を、公民館から岡崎、伊勢原駅まで延長 ・真土金目線にバス路線の導入 ・バスを増やす／コミュニティバスの運行 ・鈴川北側の土手を、南側と同じように舗装してサイクリング道路に ・寺田縄地区にもバスを伸ばしてほしい ・ふじみ野団地では交通弱者の買い物や通院のために、地域を巡回するコミュニティバスの導入／商店など生活関連施設とバス交通との連絡強化 ・安全な自転車利用環境（自転車道・レーンなど）の整備 <p>【そのほか交通施設など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーブミラーが少ない。あっても役目を果たしていないカーブミラーがある
住まい環境	<p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城島地区には市街化区域がない／農振農用地から、農振白地へ ・農地の活用で地域にあった計画的な開発と保全を／農地での宅地供給の促進 ・農地は宅地化や多用途の利用に道筋を（農振の白地化など） ・真土金目線の沿道開発がしにくい ・市街化調整区域は、緑の保全だけでひとくりにされる。もっと地区のことを考えて ・市街化調整区域の活力の低下 <p>【地域生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お店が少ない／商店の存続／買い回りの利便性の確保 ・隣近所の人顔を知っている地区なので、それを今後もいかに防犯対策 ・駐在所の存続を ・目印となる施設がない（店舗や公園など） ・地域の行事の連携／岡崎千二百年祭、岡崎・城島地区合同の運動会など ・ふじみ野団地では、商店が減少し、高齢者の日常の買い物が困難に ・高齢化が進み、子供が少ない／小学校の存続が必要 <p>【住まい環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地と豚小屋などが近すぎて悪臭がする（特に、夏の南風の時）ので、酪農団地を ・住環境の維持（過密化・狭小住宅対策、低層の維持） ・大山・富士山の眺望を確保する建物の高さの制限 <p>【公共・公益施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の利用が制限されていると感じる

区分	意見
景観、 公園・みどり	<p>【景観】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山・丹沢がみえる景観を保全 ・地域の田園は平塚の貴重な風景 <p>【みどりと水辺】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺に降りられる川が欲しい（渋田川、鈴川）／河川の土手の管理が必要 ・市民農園 ・伊勢原平塚線の側の花壇（つつじ）が枯れて埋められてしまった。草をとってきれいに維持する組織づくりが必要 ・三川合流のピオトープ創出 ・鈴川の親水公園の管理 ・金目川沿いの桜が老木になって、いたみが目につく ・渋田川、鈴川など、川への親水性の充実と魅力化（自然の岸辺の再生、草刈りなど護岸の管理その他）／城島小横の新川を親水空間として整備を ・公共下水道の整備と川の水質改善 <p>【公園、広場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が安全に遊べる公園がない ・農村公園の設置 ・岡崎市営住宅周辺の公園や沿道の桜がすばらしい
その他	<p>【産業、レクリエーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑（優良農地）を多く抱える城島地区の農家の10年後の意向を聞くべきだ ・優良農地のわりには、荒廃地が多い（後継者問題） ・農家を引き継いでいく制度が必要（要件が厳しく分家も困難） ・米農家の収益率は低く経費をまかなえる程度で、存続はむずかしい ・農業の大切さをアピールしたい（平塚農業高校の活動に注目）／農協の催しに参加を（一般市民との交流を望む） ・農地の保全だけでは農村全体が疲弊する。農業を続けながら環境にも馴染んで暮らし続けられるような制度を。大規模化は進んでいない（制度が活かされていない） ・専業農家として続けられない人の農地を活用するための対策、農家の高齢化対策 ・農業を支援する施策で、田園風景の保全を ・市全体で大型店の出店を拒否し、市内の商店街を維持させる ・農地を守るための地域や学校などの協力や、住民と農家の交流促進、大学・研究所などへの働きかけ、食農教育での連携 ・地元製品の販売と消費の促進による魅力ある農村の維持 ・花と緑のふれあいセンターや農地の有効活用 <p>【自然環境、環境との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋田川・鈴川の整備、環境美化／大山詣でのルートづくり／水質がだんだんとキレイになっていることを広報するとよい ・農業主体の水利用を景観や環境に活かしたい <p>【安心安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯関係／顔の見える関係を維持していきたい／留守中に鍵をかけないなど、無防備なのが心配／ひったくり、盗難などが多くなっている（入野、長持など）／道路が良くなった分、犯罪が広域化、防犯環境の整備が必要 ・街灯（防犯灯）の設置 ・大住中学校周辺は、通学路に街灯がなく危険 ・市営住宅から道路まで街灯を ・金田（長持）・南原地区に隣接した長瀬地区の住宅地では、市と自治会で約半数の街灯を設置した（自治会負担25%）。明るくなったことで防犯につながっている。これをモデルに <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡崎城址、真田城址、土屋城址、中原御殿など歴史的景観の回復

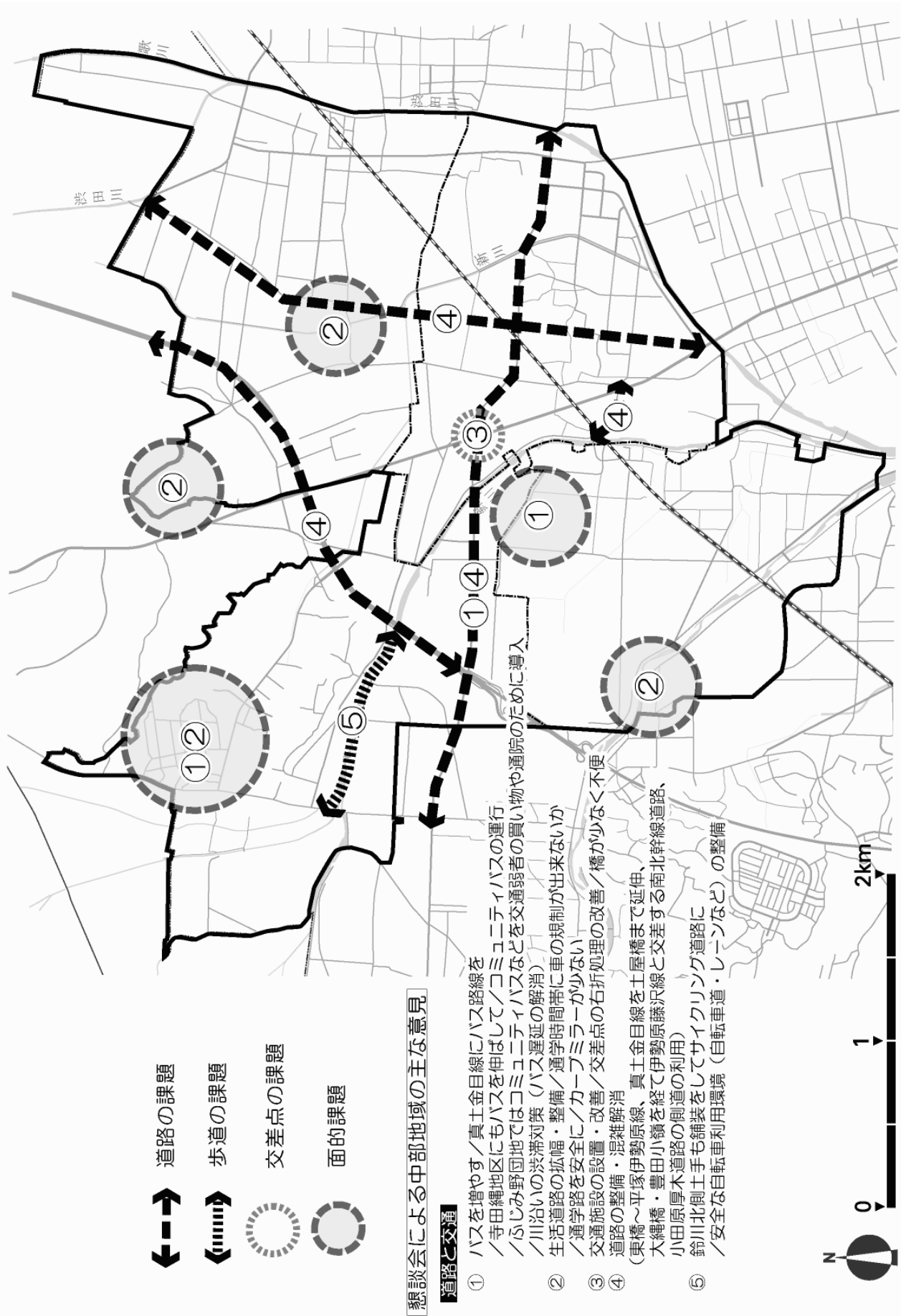
(2) まとめ

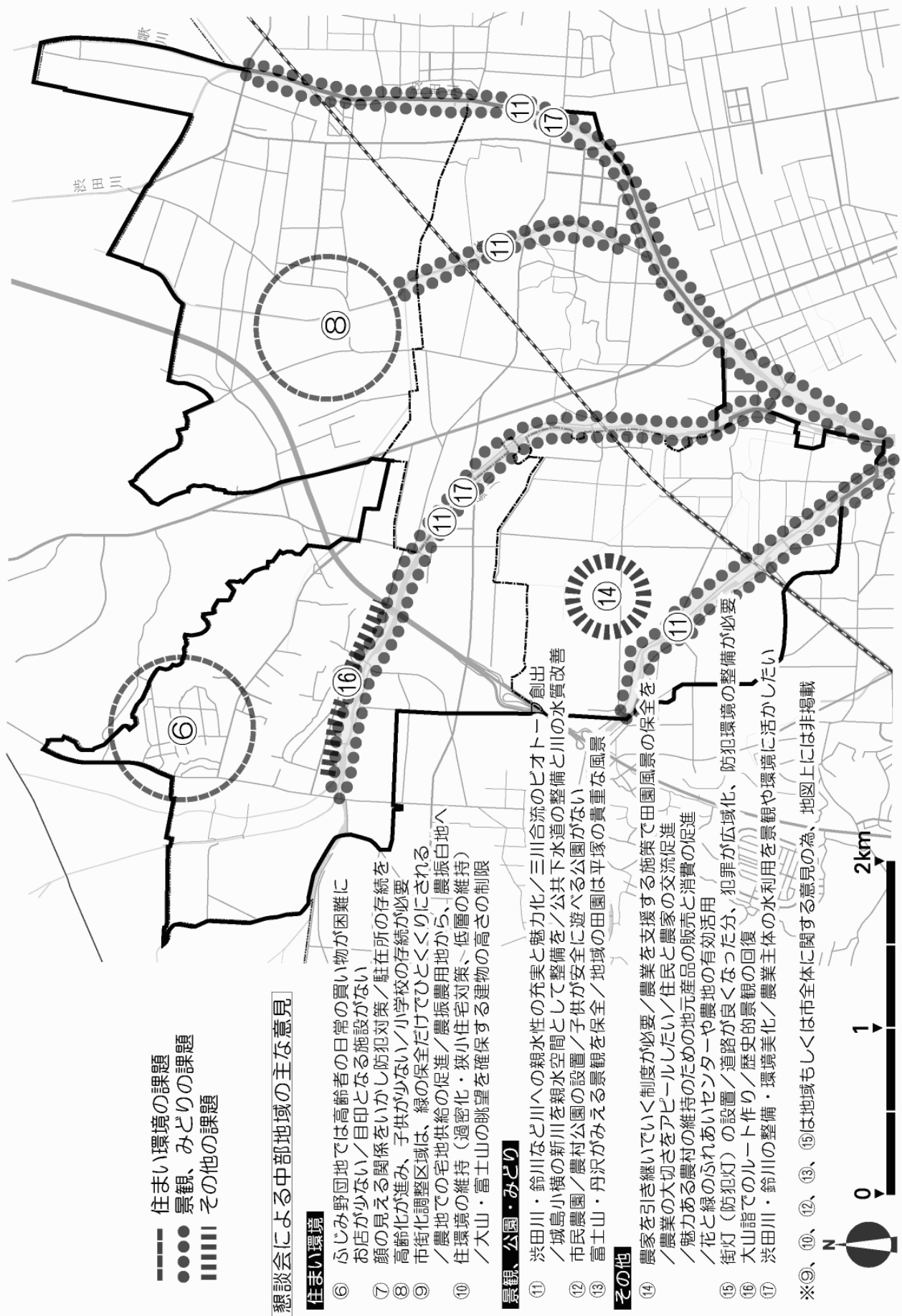
項目		内容
地域の主な課題（問題）		<ul style="list-style-type: none"> ○農地の維持が困難（後継者の問題） ○市街化調整区域の活力の低下 ○公共交通ネットワークの不足 ○商店など日常必要な施設の不足 ○住環境の維持（過密化・狭小住宅対策、低層の維持）
地域の目標	キャッチフレーズの鍵となる言葉	『市民間交流』『くらしの利便性』『田園』『農業の活性化』 『渋田川・鈴川・金目川（三川）』『平塚の尾瀬ヶ原』 『富士山・大山の眺望』『大山詣で』
	キャッチフレーズ	大山と富士を背景に豊かな田園のみどりや水辺に生まれ 交流の盛んなゆとりある暮らしのまち
	目標	<ul style="list-style-type: none"> ○農空間の有効活用で住みやすいまちづくり ○コミュニティバスなど身近な足や日常必要な施設が整ったまちづくり ○水辺と風景を活かし、活力と豊かな生活環境のあるまちづくり
地域の方針	道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全施設の設置や改善 ○右折レーンの設置 ○川沿いの渋滞対策（バス遅延の解消） ○生活道路の改善 ○安全な自転車利用環境（自転車道・レーンなど）の整備 ○バスの利便性向上、交通不便地域の解消（コミュニティバスの検討など）
	住まい環境	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な商店の維持、買い回りの利便性の確保 ○商店など生活関連施設とバス交通との連絡強化 ○防犯対策のための環境整備とコミュニティ活動の充実 ○過密・狭小住宅の防止 ○大山・富士の眺望を確保する建物の高さの制限 ○街灯の拡充
	景観、公園・みどり	<ul style="list-style-type: none"> ○川への親水性の充実と、川の魅力化（自然の岸辺の再生、護岸の管理（草刈りなど）など） ○公共下水道の整備と川の水質改善 ○みどり環境としての田園の維持
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ○農地を守るための地域や学校などの協力や、住民と農家の交流促進、大学・研究所などへの働きかけ（食農教育での連携） ○地元製品の販売と消費の促進による魅力ある農村の維持 ○農地や「花と緑のふれあいセンター」の有効活用 ○イベントやまちづくり活動の地区間の連携（音楽の活用など）

(3) まちづくりの進め方

項目	内容
地域における主な取り組み ～地域別懇談会で 話し合ったこと～	<p>(1班)</p> <p>農業の維持</p> <p>問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 無道路農地 <p>対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 優良田園住宅促進法（住める特例） ・ グリーンツーリズム（体験） ・ 農業法人化→無道路農地の対応 <p>生活の足（バス）の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園バスの活用 ・ 各地区と豊田を結ぶ短い距離で <p>河川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水質改善のための組織づくり ・ 自治会で護岸・土手の管理や整備 ・ 河川の要所に拠点→大山へ（人力車、レンタサイクルなど）
	<p>(2班)</p> <p>地元の農業を守り盛り上げる方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地産地消の拠点づくりや、地域住民との交流や協働を促進に、農協を活かす ・ 地元：地元の農産品を買う 市：平塚の農産品や花卉のPRをする 協働：地元の産品がもっと店に出回るよう働きかける ・ 農協が地域を一番よく知っている。若い人も入れて、まちづくり面でも活用すべき。皆が応援する ・ 朝市をやってはどうか ・ 例えば、バス停周辺、農協周辺、公民館など、店や市（いち）、地域の人が集まれる場所が一体的にあると、人、情報も交流する <p>路線バスの増便や拡充、新規参入などの働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元：要望する、組織化する、 ・ 市：要望に対応する、支援する、 ・ 協働：バス利用の促進を協働で働きかける

(4) 参考図 (分野別の主な意見)





- 住まい環境の課題
- 景観、みどりの課題
- ||||| その他の課題

懇談会による中部地域の主な意見

住まい環境

- ⑥ ふじみ野団地では高齢者の日常の買い物が困難にお店が少ない／目印となる施設がない
- ⑦ 顔の見える関係をいかし防犯対策／駐在所の存続を高齢化が進み、子供が少ない／小学校の存続が必要
- ⑧ 市街化調整区域は、緑の保全だけでなくくりにされる
- ⑨ 農地での宅地供給の促進／農振農用地から、農振白地へ
- ⑩ 住環境の維持（過密化・狭小住宅対策、低層の維持）／大山・富士山の眺望を確保する建物の高さの制限

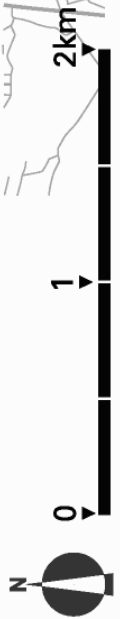
景観、公園・みどりの

- ⑪ 茨田川・鈴川など川への親水性の充実と魅力化／三川合流のピオトー創出／城島小横の新川を親水空間として整備を／公共下水道の整備と川の水質改善
- ⑫ 市民農園／農村公園の設置／子供が安全に遊べる公園がない
- ⑬ 富士山・丹沢がみえる景観を保全／地域の田園は平塚の貴重な風景

その他

- ⑭ 農家を引き継いでいく制度が必要／農業を支援する施策で田園風景の保全を／農業の大切さをアピールしたい／住民と農家の交流促進
- ⑮ 魅力ある農村の維持のための地元産品の販売と消費の促進
- ⑯ 花と緑のふれあいセンターや農地の有効活用
- ⑰ 街灯（防犯灯）の設置／道路が良くなった分、犯罪が広域化、防犯環境の整備が必要
- ⑱ 大山詣でのルート作り／歴史的景観の回復
- ⑲ 茨田川・鈴川の整備・環境美化／農業主体の水利用を景観や環境に活かしたい

※⑨、⑩、⑫、⑬、⑮は地域もしくはは市全体に関する意見の為、地図上には非掲載



(5) 懇談会の様子



第1回懇談会時



第2回懇談会時



第3回懇談会時